

新城地域協議会だより 号外 平成30年2月16日
しんしろまちなか映画祭2018特集号

回覧

平成29年度新城地域自治区予算事業

3月3日(土)、3月4日(日) いよいよ開幕!!

しんしろまちなか 映画祭2018

2018.3/3[sat] → 4[sun]

料金：前売券500円/本 当日券800円/本
場所：新城文化会館小ホール

前売券：1作品 500円 新城文化会館・ピアゴ新城店にて好評発売中!!

3/3[sat]
ローマの休日
開場12:30/上映13:00~



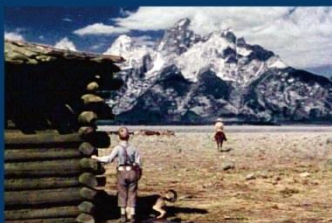
3/3[sat]
嵐を呼ぶ男
開場15:15/上映15:30~



(C) 1957 日活株式会社

3/4[sun]
シェーン

開場9:30/上映10:00~



3/4[sun]
あん

開場12:30/上映13:00~



©2015 映画「あん」製作委員会/COMME DES CINEMAS/TWENTY TWENTY VISION/ZDF-ARTE

- 主催：新城まちなか映画祭実行委員会
- 後援：新城市教育委員会・新城中部区長会・新城市老人クラブ連合会・[ティーズ]・㈱エフエム豊橋・新城ロータリークラブ・新城ライオンズクラブ
- 協力：とよはしまちなかスロータウン映画祭実行委員会
- 問合せ先：しんしろまちなか映画祭実行委員会事務局

【新城市字東入船 6 番地 1 Tel.0536-23-7693 E-mail:shinshiro-jichi@city.shinshiro.lg.jp】

3月3日（土）上映作品

「ローマの休日」

1953年 パラマウント 118分

監督:ウィリアム・ワイラー

出演:グレゴリー・ペック

オードリー・ヘプバーン

ローマに滞在中の某小国の王女アンは公務に疲れて、ある夜自由を夢見て公邸から脱走。偶然出会った新聞記者ジョーとの間に恋が芽生える、ラブ・ロマンスの永遠の名作。テレビの泉や真実の口などローマの名所が随所に登場する。



開場 午後0時30分 上映 午後1時00分～

「嵐を呼ぶ男」

1957年 日活 100分

監督:井上梅次

出演:石原裕次郎／北原三枝

石原裕次郎の代表作にして日本映画黄金時代を象徴する作品。ジャズ界を舞台に、流しの若者がトップドラマーにのし上がっていく業界の裏側を描いた青春映画。スティック片手に「おいらはドラマー」と唄いだす名シーンは痛快。



©1957 日活株式会社

開場 午後3時15分 上映 午後3時30分～

3月4日（日）上映作品

「シェーン」

1953年 パラマウント 118分

監督:ジョージ・スティーヴンス

出演:アラン・ラッド／ヴァン・ヘフリン

南北戦争後のアメリカ西部を舞台に、流れ者シェーンと開拓民一家との交流や悪徳牧場主との決闘を描いた、西部劇史上十指に入る傑作。ジョーイ少年の声がか山並みこだまするラストシーンは必見。第26回アカデミー賞撮影賞を受賞。



開場 午前9時30分 上映 午前10時00分～

「あん」

2015年 エレファント 118分

監督:河瀬直美

出演:樹木希林／永瀬正敏

どら焼き店で働く元ハンセン病患者の老女が、尊厳を失わず生きようとする姿を丁寧に紡ぐ人間ドラマ。樹木希林が演じる主人公徳江の故郷として、新城市にて撮影が行われた。第68回カンヌ国際映画祭・「ある視点」部門オープニング作品。



©2015 映画「あん」製作委員会/COMME DES CINEMAS/ TWENTY TWENTY VISION/ZDF-ARTE

開場 午後0時30分 上映 午後1時00分～

■注意事項

- ・小ホール内の飲食・喫煙は禁止となっておりますので、ご協力をお願いいたします。
- ・本映画祭は入れ替え制となっております。続けて映画をご覧になりたい方も、一旦小ホールからご退出いただきますよう、お願いいたします。
- ・映画上映中は、周りの方のご迷惑にならないよう、ご配慮をお願いいたします。
- ・映画上映中のビデオ撮影・写真撮影は禁止です。



しんしろまちなか映画祭2018

人生100年時代といわれるように、医療の進歩により日本人の平均寿命は80歳を超えるようになりました。次に問われているのは、健康寿命の延長です。いつまでも元気に住み続けられることは、自分にとっても家族にとっても社会にとっても望ましいことです。この健康寿命を延ばすには、外出をして、人と会話をすることが大切だと言われます。そこで今回、地域の高齢者のみなさんが集まり、楽しみ、おしゃべりする機会として、映画祭の開催を企画しました。若かりし頃に心躍らせた作品をお楽しみいただくとともに、懐かしい映画ポスターやまちなみの写真の展示を通じて、映画談議や思い出話に花を咲かせていただければと思います。そして、まだまだ元気なみなさんのお力を、この地域のこれからのまちづくりにお寄せいただければ幸いです。

しんしろまちなか映画祭 2018 実行委員会 委員長 森 正彦



しんしろまちなか映画祭実行委員会って誰がやってるの？

長生会（東新町老人クラブ）・栄寿会（栄町老人クラブ）・男性の民生委員（新城地域自治区内）・しんしろ城下町の会、それぞれの会の役員さんや趣旨に賛同していただいた会員の方たちにより、実行委員会が構成されています。また、とよはしまちなかスロータウン映画祭実行委員会様にご協力をいただいております。

平成29年4月より本格的に活動を開始し、以降映画祭開催に向け、毎月1回以上会議を開催してきました。上映作品は、市内及び地域の皆様からアンケートをいただいた上で、とよはしまちなかスロータウン映画祭実行委員会顧問の佐々木氏からアドバイスをいただき、試行錯誤の末に実行委員会の皆さんで選定しました。そして、秋頃から映画祭告知のためのポスター貼りやチラシ設置などの広報活動を行いました。また、年末年始にかけて、東日新聞様・東愛知新聞様・中日新聞様に記事として取り上げていただきました。



写真：東愛知新聞様による取材の様子

また、趣旨にご賛同いただいた方たちにより、ブログやSNSなどでこの映画祭のことをご紹介いただき、「こんな企画を待っていた！」という声もいただいております。こういった新聞記事や皆様からの温かいお声は、実行委員の活動の励みとなっています。

そして、現在、実行委員の皆さんは、映画祭開催間近ということで、詰めの作業や打合せ、前売券の販売等々に全力で奮闘してくれています。

私（新城自治振興事務所担当：川合）はもともと新城小学校区の生まれではありませんが、自分が住んでいるこの地域でこんなにも多くの人たちが地域のために一致団結して頑張る姿を見て、この地域に住んで本当によかったと心から思っています。

実行委員の皆さんの1年間の集大成となる、しんしろまちなか映画祭2018、ぜひお越しください！

しんしろまちなか映画祭ってなんのためにやるの？

新城地域自治区（新城小学校区）は、市の中心部でありながら、高齢世帯率が高く、上昇傾向にあります。一般的に高齢世帯は、家に閉じこもりがちになりやすく、将来的に認知症の発症リスクの増加や日常生活の助け合いの喪失が懸念されます。既に各行政区においては外出促進の機会として、公民館活動やミニデイなどを実施しているところですが、現場の方たちの声から、高齢男性の参加率が低いことがわかりました。話は変わりますが、新城地域自治区（新城小学校区）には、昭和30～40年代頃、2つの映画館があったことをご存知でしょうか。新城駅前に新富劇場、中町交差点付近には昭和映画劇場という2つの映画館があったそうです。また、この頃のまちなかは新城銀座と呼ばれるほど、多くの人を訪れ、賑わいがありました。この頃の話、特に映画の話題になると団塊世代の高齢男性の方たちの目が輝き、饒舌になります。そこで、高齢男性の外出促進を目的として、このしんしろまちなか映画祭を新城地域自治区予算事業として開催することを決定いたしました。なお、高齢男性が世代・年齢・性別を超えて交流の輪を広げられるよう、どなたでも映画をご覧いただけますので、ぜひ前売券をお買い求めの上、お越しください。

■ 関連企画 昭和懐かし映画ポスター展&新城まちなか写真展

- 映画を見る前、また、見終わったら、新城文化会館展示室に足をお運びください！
- 会場の中に入れば、たちまち昭和のあの頃にタイムスリップできます！
- 映画の余韻に浸ると同時に、昭和のあの頃・あの映画について語り合いませんか？

とよはしまちなかスロータウン映画祭実行委員会顧問の佐々木氏の協力により、新城の映画館でも上映のあった、懐かしの映画ポスターの展示と、しんしろ城下町の会による、昭和の頃の新城まちなかの写真展が行われます。また、設楽町教育委員会の協力を得て、田口の映画館で当時使用されたチラシも展示予定です。入場は無料で、映画祭開催前の2月28日から3月4日まで開催しています。どうぞお越しください！



2018. 2/28 [wed] — 3/4 [sun]

入場
無料

関連企画 昭和懐かし映画ポスター展&新城まちなか写真展

■ 場所：新城文化会館展示室 ■ 午前9:30～午後6:00 (3月4日のみ午後4:30まで)

■ 協力：佐々木順一郎氏(とよはしまちなかスロータウン映画祭実行委員会顧問)・しんしろ城下町の会

発行：新城自治振興事務所 担当：川合 一也(かわい かずや)

【お問合せ】新城市字東入船 6-1 新城市役所西館(はつらつセンター内)

電話：0536-23-7693 FAX:0536-23-7694 メール: shinshihiro-jichi@city.shinshiro.lg.jp